

スカウト
通 信

こんこう スカウト
KONKO SCOUT

発行 金光教スカウト協議会 岡山県浅口郡金光町大谷320 金光教本部教庁内

第3回金光教スカウト団交流研修会ブロック開催

昨年度(平成17年度)団交流研修会が、金光スカウト団指導者並びに団委員を対象に3会場(大阪・御霊地・福岡)で開催されました。今年で3年目3回となりました。第1回(大阪・玉水教会)、第2回(御霊地)の成果と、一方、遠隔地からの参加がし難いとの意見を受けて、17年度はブロック開催となりました。スカウト協議会では、今後、主会場(一会場)開催とブロック(複数会場)開催とを隔年毎で行うこととしています。内容は懇談が中心で(以下に詳細記事)、各ブロック選出の理事(スカウト協議会)が担当し運営にあたりました。随所にブロック毎の特徴がうかがえる内容でした。

大阪・京都ブロック

8月28日、金光教泉尾教会において、大阪、京都、滋賀、奈良より20名の参加のもと、開催されました。午前中は、前日より開催されていた金光教章講習会の講話と共に受講しました。午後は、開会式に続き、スカウト協議会理事の近藤和明氏より「心を育てる～明確なる信仰の奨励～」というテーマのもと発題があり、スカウト活動を通して神心を育てることの大切さについて話を聴講しました。その後、班別懇談に移り、3班に別れて団と教会活動の関わり、指導者への信仰奨励に対する理解、スカウト協議会への意見・要望について、活発な討議がなされました。

全体討議に続いて、懇親会が設定され、泉尾教会副教会長三宅光雄先生に出席頂き、和やかな雰囲気の中、各団の情報交換を中心に親睦を深めました。日本ジャンボリーでの再会を誓い、教会広前で御祈念後夕刻解散しました。



中国・四国ブロック

6月11日、御霊地において、広島、岡山、愛媛より29名の参加のもと開催されました。午後、本部広前でご祈念・お届け。その後、教庁前で記念撮影、教庁4階大会議室に移動し、開会行事(スカウト協議会の誓い・三指の仲間斉唱)を行いました。

研修Ⅰでは、「各教会スカウト団の年間テーマ」、「入団対策と指導者育成」、「育成会と団の財政」について、研修Ⅱでは、「教会行事(信徒会)とスカウト団の関わり」、「スカウト・指導者の信仰教育」、「他のスカウト団にきて見たいこと」を取り上げ、各団の取り組みを含めた意見交換を行いました。

懇親会の後、閉会(主催者挨拶、この道を行く斉唱、いやさか)、ご祈念、散会しました。参加者からは、各団の情報交換に多くの時間が割くことができ、有意義であったとの意見と「テーマをきめて開催してはどうか」、「技能を深めるようなプログラムが欲しい」、「プロフェッショナルな内容が欲しい」との意欲ある声がありました。



九州ブロック

6月25日、金光教久原教会において、福岡、熊本より9名の参加のもと開催されました。午後12時30分開会。久原教会お広前にてご祈念。オラクル(集会所の意)ホールに移動。自己紹介ゲーム「わたしは誰」の後、研修会を開催しました。事前調査での回答を参考に、研修のテーマ2つを設け懇談会を行いました。

テーマは、「スカウト・指導者の加入促進策について」と「スカウト活動における信仰への導き方について」の二つを設けました。

懇談会では、「懇談会のルール」【①1テーマ、一人5分の発表を行う。その後、②1分間の無言タイムを設け、その1分で参加者は、発表に対する意見・感想をまとめ、記録用紙に記録する。(注意：発表中、参加者は、話しをしっかりと聞くこと。発表中に次に自分が何を話そうかを考えないこと) ③参加者全員の発表が終わった後、司会進行により懇談を行う。意見集約】を設け、発表者が偏らないように、一人一人の話しをしっかりと聞くことに全員が心掛けての懇談・研修会となりました。今回、開催できて良かったとの声が多く、今後、自主的に九州ブロックでの集まりを定期的に開催して行く旨を確認して散会しました。



金光教章取得講習会開催

平成17年度大阪第17期 8月27日から28日にかけて、金光教泉尾教会を会場に金光教章取得講習会が参加者5名、講師・スタッフ8名にて実施されました。講習は、「結界取次と本教儀式」「金光教の歴史」「金光教スカウトの使命」等関西金光学園の宗教教育科の先生を中心に7時間の講話、ビデオ視聴、広前での御祈念と充実した内容となりました。さらに今回は、団交流研修会参加者と交流の場を持つことができ、有意義な講習会となりました。



平成17年度福岡 9月24日から25日にかけて、金光教久原教会を会場に金光教章取得講習会が地元福岡14名、広島5名、熊本1名の計20名、講師・スタッフ16名、久原教会婦人部会みなさんのご協力のもと開催されました。主任講師に、阿部道生久原教会長(スカウト協議会副会長)、講師・スタッフには、スカウト参加団関係者が奉仕しました。久原教会では、一年置きに宗教章講習会を開催しています。講習会は、「10のセッション」と「営火」、「朝礼」、「スカウトソング」で組み立てられ、各講師が受け持ち進められました。ここでの講習会では、特に、スカウト運動と信仰についての関係や係わりについての理解に多くの時間が割かれ、また実習にも重きを置いた組み立てでした。実習では、セッション6【作法実習】では、実際にお広前・お結界でのお取次ぎを参加者一人一人が頂くもので、参加者の表情は一層緊張した面持ちとなりました。また、営火では、歌やゲーム、スタッフスタンツ、スカウト活動をして来て良かったことの発表など、終始、楽しい雰囲気の中で進められ、参加者は、参加を喜び感謝し、お互いの友情を深め合うに良いプログラムでした。今回、始めて講師として奉仕させて頂き、大変良い勉強の場となりました。今後、指導者間でも奉仕の輪を広げて行きたいと思っております。

特集

わたしたちの団を 紹介します

⑥ 西大寺教会

日本ボーイスカウト	
岡山県連盟西大寺第1団	
スカウト	68名
指導者	18名
団委員	13名
計	99名
ガールスカウト	
岡山県第8団	
スカウト	22名
指導者	8名
団委員	8名
Scapp	7名
計	45名

前教会長小林年子先生は、『戦後の復興は青少年の育成にある』との本部の願いを真受けに受けられ、『子どもの声の響く教会に』と願いを立てられ、信徒会長と共に、昭和二十三年頃から近所の子どもや信徒の師弟を集め、子ども会を始められました。『人はみな神の愛し子』という思いから、分け隔てなく受け入れ、青年有志は教会長の思いをわが事とし、ボーイスカウトの指導者となり、二十四年西大寺第一団を結成、二十九年九月ガールスカウト岡山第八団が誕生致しました。

以後副教会長の『青少年の育成は、私のライフワークである』といわれるように、教会家族はもとより、教会をあげてスカウトの育成に力を注いでくださいました。気負うことなく、『人の助かり』だけを願いつつの活動で、多くの地域の方々に支えられ今日まで続けさせて頂いております。

十七年は岡山国体が開催されるにあたり、障害者スポーツ大会の式典補助奉仕のご用に県連をあげて取り組み、当団からも年長スカウトが多数奉仕し、一杯の感動を受けたことでした。



17.4 勤学祭

新年の祈りを込めて行われるスカウト団合同の「餅つき初集会」、四月の勸学祭では在籍するスカウトの勉学成就をお祈り頂き、学業とスカウティングの両立を願います。

保護者会を中心に運営される「夏のバザー」と「教会慶朗会時のスカウトバザー」。二度のバザーで沢山の活動資金を得ることができ、有り難いことと感謝しております。

スカウト活動の発表の場として始まった「教会慶朗会(けいろうかい)」では、各部門・各隊で出し物を発表し、年長の信徒の方々や、招かれた町内のお年寄りも楽しい一時を過ごしていただきます。カブスカウトは劇「金の斧、銀の斧」を演じ、今年も近くの特別養護老人ホームを慰問し、皆さんにも喜んでいただく事ができました。



17.11 慶朗会

今年も大満足でした。

一昨年は三家庭でフィリピンの子どもをホームステイしてくださり、楽しい一夜を過ごし、二日目はガールスカウト岡山地区との一泊交流会を計画し、沢山のスカウトとの楽しいプログラムで友情を深めました。

継続した交流を続けたいと、シンキングデイのテーマを「フィリピンを知る」とした年には、「居・食・住」について調べて発表し、お国料理を試食し、遊びではバンブーダンスに挑戦するなど楽しく学び合いました。

今年もスカウトの行事と重なり、協力出演はできませんでしたが、みんなで作ったクリスマスカードとプレゼントを持って、コンサートを聴きに行き、施設長のソルさんに手渡しして帰りました。あちらからどんな手紙が来るかと楽しみに待っているところです。

このプロジェクトを通して、スカウト自身も多くの事を学ぶチャンスとなり、広い視野で物事を見ることのできる人へと成長して欲しいものと考えています。

苦しみのない、幸せな生活があたりまえにできていることの感謝のできるスカウトに成長し、なくてはならない一人一人になってもらいたい、それが、わがスカウト団の願いです。



一泊交流会